

平成 26 年度 公 2 事業報告書（川崎市国際交流センター）

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

※事業名末尾の（）書きは、県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 情報収集・提供事業

■ 1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営（2-7）

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- ① 利用時間 午前 10 時～午後 8 時（開館日）
- ② 利用対象 小学校高学年以上
- ③ 複 写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。
白黒コピー（B5～A3）1 枚 10 円
カラーコピー（B5～B4）1 枚 50 円 （A3）1 枚 80 円
- ④ 閲 覧 等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- ⑤ 利用者数 12,335 人
- ⑥ 閲覧件数 図書等（2,009 件）ビデオ（125 件）CD（56 件）DVD（7 件）パソコン（641 件）
- ⑦ 閲覧図書上位 1. 辞書・辞典・事典 2. 児童向け図書 3. ワールド
4. 日本関連図書 5. 国際交流児童書
- ⑧ 蔵書数

書 籍	15,169 冊
和図書	12,579 冊
外国語図書	2,590 冊
新 聞 （日刊・週刊など）	18 紙
英語	1 紙
韓国・朝鮮語	1 紙
中国語	3 紙
日本語	11 紙
フィリピン語	1 紙
日本語 / 中国語	1 紙
情 報 誌	46 誌
和雑誌	32 誌
外国語雑誌	14 誌
在日外国人向け生活情報誌	7 誌
ビデオテープ	482 巻
新聞スクラップ	98 タイトル 390 ファイル

（平成 27 年 3 月末現在）

(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)

国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

- ① 国際交流に関わる情報提供（談話ロビー、プロムナード）
国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。
- ② 外国人への情報提供（情報ロビー）
外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置することにより外国人市民への情報提供を行った。
- ③ 国際交流に係る資料や作品の展示（情報ロビー）
関係機関・団体等の絵画や作文等の展示、文化に触れる機会を提供するとともに国際交流等に関わる多様な情報を市民に提供した。
(ジュニア文化賞等)
- ④ 姉妹・友好都市(港)の紹介（ギャラリー）
姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市(港)の紹介を行った。
- ⑤ 国際交流に関わる情報交換（談話ロビー）
市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。
- ⑥ 各国紹介パネルの展示（情報ロビー、プロムナード）
在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際的な環境づくりを行った。
- ⑦ インターネットコーナー（受付前）
市民が無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。
(利用時間) 午前9時30分～午後8時00分（休館日を除く）
(利用内容) インターネットの閲覧のみ。
(利用料) 無料。1回あたり30分まで
(利用件数) 1,501件

※情報ロビーでの催事・展示

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	日本大震災復興支援 「やなせたかしのメルヘン絵本」読み聞かせ	絵本読み聞かせ会	4/20・5/18 6/15・7/27 8/24・10/26 11/23
2	生花展示「暮しの花」	池坊川崎中央会	8/9～10
3	竹粉配合抗菌樹脂（バイオプラスチック）「子供達が安心して暮らせる明るい未来の環境樹脂」	株式会社ユニオン産業	8/11～31
4	ドミニカ共和国 写真展	(公財)川崎市国際交流協会	11/8～11/14
5	日中友好“一人一人の声が国と国をつなぐ”	学生有志団体 WILL	11/15～11/16
6	かわさきボランティアタウンフェスタ2014	川崎市社会福祉協議会	11/29～11/30
7	外国人フォトコンテスト	(公財)川崎市国際交流協会	12/1～12/14

8	日本語講座夜間コース 消しゴムハンコ作品展	(公財)川崎市国際交流協会	12/10~1/14
9	アトリエナチュール 展覧会	アトリエナチュール	1/30~2/1
10	万が一に備えて~今できること~	(公財)川崎市国際交流協会	2/22~3/1
11	アトリエ5 作品展2015	アトリエ5	3/5~3/8

II 広報出版事業

■ 2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8)

① 「国際交流センターだより」の発行

(目 的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。

(発 行) 年間10回(月刊、7・8月号、2・3月号は合併号)

(部 数) 5,000部/回

(内 容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターちょこっとだより、施設点検日・休館日のお知らせ、その他

(配 布 先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内公立学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

② かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目 的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。

(発 行) 年4回(季刊)

(部 数) 6,000部/回

(編 集 等) 協会登録のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(配 布 先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、高校、大学等、ボランティア、国際交流関係団体等

(2) センターホームページの運営 (2-8)

国際交流協会のホームページにより、市民及び外国人に国際交流に関する多様な情報を提供した。

(ホームページ) URL <http://www.kian.or.jp/>

(提供内容)

○川崎市国際交流協会について

- ・国際交流協会案内
- ・協会のイベント及び講座
- ・協会が後援するイベント
- ・ニューズレター
- ・図書・資料室
- ・国際交流事業への助成制度

○外国人への情報提供について

- ・日本語講座
- ・外国人市民相談コーナー
- ・生活情報
- ・外国人留学生への助成制度
- ・7言語での川崎市内のお知らせ

○小学生への情報提供について

・川崎市の外国人に関するデータ ・姉妹友好都市について

○その他

・ボランティア活動 ・国際交流民間団体協議会 ・身近な国際協力

・Facebook ・ブログ

(アクセス件数) 104,885件 (287アクセス/日)

(更新数) 1,148回

(3) 各種メディアの活用 (2-8)・

FM K-city の活用

・毎月1回、「アクセスかわさき」生放送番組に電話での出演等、センター事業の広報を行った。

・「世界の国からこんにちは」生放送番組に日本語講座受講生等が出演し、自国での経験や外国の新鮮な情報を届けた。

(出演日時) 平成26年4月12日(土)、8月9日(土) 11:00~

(場 所) 武蔵小杉タワープレイス1階

(人 数) 12名(中国、フィリピン、フランス、日本)

Ⅲ 講座・研修事業

■ 3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催(2-1)

(講 座)

○午前コース(9:50~11:50) 年間3期、週2回(火、金)、
保育(受講生の子どもを預かる)実施

1学期:4/22~7/11(22回)、2学期:9/16~12/2(22回)、3学期:1/13~3/6(17回)

○夜間コース(18:30~20:30) 年間3期、週1回(水)

1学期:4/16~7/9(12回)、2学期:9/3~12/10(15回)、3学期:1/14~3/18(9回)

(講 師) 協会登録の日本語講座ボランティア

(場 所) 川崎市国際交流センター・会議室

(受 講 者) 334名 (38の国・地域)

(2) 特別講座(2-1)

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

①市内見学(東芝未来科学館訪問) 5月20日(火)

受講生37名、子ども9名、日本語ボランティア15名、スタッフ1名 計62名(午前コース)

②手工芸講座 6月13日(金)

受講生 25 名、講師 5 名、保育ボランティア 1 名 計 31 名（午前コース）

③七夕祭り 7月2日（水）

受講生 21 名、日本語ボランティア 10 名 スタッフ 1 名 計 32 名（午前コース）

④七夕祭り 7月4日（金）

受講生 49 名、日本語ボランティア 11 名、スタッフ 1 名 計 61 名（夜間コース）

⑤消しゴムハンコ作り 12月3日（水）

受講生 29 名、日本語ボランティア 10 名、スタッフ 1 名 計 40 名（夜間コース）

⑥手工芸講座 12月2日（火）

受講生 24 名、講師 5 名、保育ボランティア 1 名 計 30 名（午前・夜間コース）

⑦課外活動梅まつり（大倉山公園梅林） 2月28日（土）

受講生他 16 名 日本語ボランティア 7 名、スタッフ 1 名 計 24 名

⑧防災訓練 2月24日（火）

受講生 29 名、日本語ボランティア 11 名、保育ボランティア 3 名 計 43 名

⑨特別講座 風呂敷の作法と使い方 3月6日（金）

受講生 36 名、日本語ボランティア 11 名 スタッフ 1 名 計 48 名（午前コース）

⑩特別講座 風呂敷の作法と使い方 3月18日（水）

受講生 29 名、日本語ボランティア 10 名 スタッフ 1 名 計 40 名（夜間コース）

(3) 研修会 (2-1)

①日本語講座ボランティアブラッシュアップ講座

現在活動中の日本語ボランティアを対象に専門的知識、技能、資質能力の向上など総合力アップを目的とした講座を開催した。

（期 日） 平成 27 年 1 月 10 日、1 月 17 日、1 月 31 日、2 月 7 日、2 月 21 日

（回 数） 全 5 回

（講 師） 大学研究所研究員、日本語教育専門家

（場 所） 川崎市国際交流センター

（参加者） 94 名

②日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

（日 時） 平成 27 年 2 月 28 日（土）14:30～16:00

（講 師） 日本語学校講師

（場 所） 川崎市国際交流センター

（内 容） 「ことばってこんなに楽しい」 外国人へ日本語を教えるためのアプローチ法

（参加者） 32 名（協会登録日本語講座ボランティア）

■ 4 国際理解講座事業

市民の国際理解を深めるため、日本語、外国語（英語、中国語）のほか文化を通じた国際理解講座を開催した。

(1) 日本語による国際理解講座 (2-2)

日本・中米外交関係樹立 80 周年にあたるドミニカ共和国と日本・ボリビア外交外国関係 100

周年にあたるボリビア共和国の講師から文化や社会情勢を紹介。ダンス講師でもある両講師から中南米のダンスによる文化に肌で触れ国際理解を深めた。

(期間) 平成26年11月8日(土)、11月22日(土)

(時間) 13:00~14:30

(会場) 国際交流センター 2・3会議室

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11/8(土)	「ドミニカ共和国ダンス文化」	ラテンダンス講師	26
2	11/22(土)	「ボリビア多民族国ダンス文化」	フォルクローレ舞踊講師	24

(2) 外国語による国際理解講座(2-2)

①英語による国際理解講座(10月コース)

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と交流を行った。

(期間) 平成26年10月17日(金) 19:00~20:30

平成26年10月18日(土) 10:30~12:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10/17(土)	‘America, East/West; North/South different cultures and attitudes’ 「アメリカの東西、南北にわたる文化や意識の違いについて」	教育委員会指導主事 助手	35
2	10/18(土)	‘People and legends of Wisconsin’ 「ウィスコンシン州にまつわる伝説や人物について」	慶應義塾大学講師	34

②英語による国際理解講座(11月コース)

(期間) 平成26年11月15日(土)、11月22日(土)

(時間) 10:30~12:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11/15(土)	‘Olympics, National Pride, the Power of Sports’ 「スポーツの力: カナダという国を通じて考えてみる」	川崎市国際交流員	35
2	11/22(土)	‘Australia is a great country, but I can’t move back’ 「オーストラリアの潜在的な力を探ってみよう!」	玉川大学講師	34

③中国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。中国の伝統文化や現代の社会問題等について、講義と文化の体験や交流を行った。

(期間) 平成 26 年 10 月 25 日 (土)、11 月 8 日 (土)、11 月 15 日 (土)

(時間) 14:00~16:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	10/25 (土)	「水墨画 を 楽しむ」	上海出身 水墨画家	23
2	11/8 (土)	「中国とのビジネスについて」	大連出身 日本企業勤務	27
3	11/15 (土)	「おいしい中国茶の世界」	台湾出身 中国茶芸師	31

■ 5 国際文化理解講座事業

(1) 国際文化理解講座(2-3)

日本スイス国交樹立 150 周年記念の特別講座として開催。観光地としてもスイスばかりでなく日本との関わりの中から共通する部分や違いを学び、市民レベルでの相互理解を深めた。

(期 間) 平成 26 年 11 月 29 日 (土)、12 月 20 日 (土)、平成 27 年 1 月 17 日 (土)

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール

(時 間) 10:00~12:00

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	11/29 (土)	観光ではなく暮らしてみてもわかったスイス	スイス公文学園 元事務長	29
2	12/20 (土)	スイスの食文化について クリスマスの家庭料理	駐日スイス大使館 ビジネス・ハブ部長夫人	31
3	1/17 (土)	スイスの多様性について	駐日スイス大使館 文化・広報部長	57

IV 国際交流促進事業

■ 6 日本語スピーチコンテスト事業

(1) 日本語スピーチコンテスト(2-5)

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の受講生および企業等の外国人研修生等を対象に、第 20 回日本語によるスピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と聴衆、関係者との交流も実施した。

(期 日) 平成 27 年 2 月 14 日 (土) 13:00~17:00

- (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール 他
 (内 容) スピーチコンテスト、交流会
 (主催等) 主催：公益財団法人 川崎市国際交流協会
 協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご
 協力：国際ソロプチミスト川崎
 後援：川崎市、川崎市教育委員会、川崎商工会議所、
 「音楽のまち・かわさき」推進協議会
- (対 象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学、
 専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の受講生等

(出場団体等) 14団体 20名

エジプト	外語ビジネス専門学校	「一緒に笑いましょう」
中 国	川崎市国際交流協会日本語講座	「私の夢」
バングラディシュ	日本語クラブ土曜の会	「銭湯について」
韓 国	株式会社ソフテム	「韓国人から見た日本人について」
ベトナム	専修大学	「肌で感じる日本人の思いやり」
アメリカ	川崎市国際交流協会日本語講座	「幸せな国際結婚をするために」
ベトナム	幸市民館幸日本語学級	「障害者に優しい日本」
中 国	日本語クラブ土曜の会	「競争心」
韓 国	日本女子大学	「あなたの夢は何ですか？」
インドネシア	株式会社ソフテム	「日本の理解できない部分」
ベトナム	株式会社リード技研	「僕に後輩が出来ました」
中 国	米山ファッションビジネス専門学校	「日本と中国の違い」
モンゴル	外語ビジネス専門学校	「おもてなし」
スリランカ	興和日本語学院	「生活が変わりました」
ドイツ	三菱ふそうトラック・バス株式会社	「故郷」
ベトナム	ロゴス国際学院	「試練を乗り越えること」
アメリカ	専修大学インターン	「日本映画の生みの親：黒澤 明」
台 湾	外語ビジネス専門学校	「自分の殻」
ベトナム	株式会社リード技研	「私の夢」
中 国	早稲田EDU日本語学校横浜校	「私の夢」

(聴衆 参加者) 290名

(交流会参加者) 150名

■ 7 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

(1) クロコディロスコンサート(2-6)

第20回目のアメリカ・ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサートを開催し、アメリカの音楽文化を通じて市民の国際理解を深めた。また、コンサート後、学生との交流会を実施した。

(期 日) 平成 26 年 6 月 21 日 (土) コンサート : 14:00~
 交 流 会 : 15:30~

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール他

(後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会

(内 容) 男声アカペラコンサート

(参加者) コンサート : 180名
 交 流 会 : 90名

(2) 世界の音楽会 (魅惑の音楽紀行) (2-6)

タンゴ日本到来 100 周年記念の特別講演として、バンドネオンの音色とタンゴにまつわる代表的な音楽や踊りを紹介し、国際理解促進が図れるようコンサートを開催した。

第 1 回 (期 日) 平成 26 年 11 月 1 日 (土) 14:00~16:00
 (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール
 (後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
 (内 容) バンドネオンとダンスで魅せるタンゴ
 (参加者) 200名

第 2 回 (期 日) 平成 27 年 2 月 20 日 (金) 19:00~20:30
 (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール
 (後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
 (内 容) アルゼンチンタンゴとフォルクローレの世界
 (参加者) 190名

V 外国人相談事業

■ 8 外国人相談事業

外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等への紹介を行った。川崎市国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを毎月 1 回、川崎市国際交流センターで行った。

(1) センター相談事業(2-4)

川崎市国際交流センター

(相談言語・相談日)

英 語	月・火・水・木・金・土	10:00~12:00、13:00~16:00
中国語	火・水・金	10:00~12:00、13:00~16:00
韓国・朝鮮語	火・木	10:00~12:00、13:00~16:00
ポルトガル語	火・金	10:00~12:00、13:00~16:00
スペイン語	火・水	10:00~12:00、13:00~16:00

タガログ語 火・水 10:00~12:00、13:00~16:00

(2) 区役所相談事業(2-4)

川崎区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	14:00~16:30
タガログ語	第1・3火	9:30~12:00
英語	第1・3木	14:00~16:30

麻生区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	9:30~12:00
タガログ語	第1・3水	14:00~16:30
英語	第1・3木	9:30~12:00

<相談員>

川崎市国際交流協会相談員(6名)

ボランティア相談員(区役所派遣6名)

<相談件数>

年間相談数	1,338件
川崎市国際交流センター	1,307件
川崎区役所	20件
麻生区役所	11件

(3) 相談支援(2-4)

① 専門相談会

(センター内)

○行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部)

○かながわ外国人居住支援ネットワーク運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議

川崎市住宅基本計画改定委員会

○川崎市外国人代表者会議選考委員会

○川崎市DV被害者支援対策推進会議

○中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会

○9都県市外国人相談企画研究会

○県市三協会等連絡会議

○多文化フェスタさいわい(平成26年11月8日(火)開催)外国人相談ブースに相談員2名派遣 相談件数7件

② 相談員研修

国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングや研修を毎月第4火曜日に、川崎市国際交流センターで行った。

さらに、川崎市国際交流センターにおいて研修を実施したり外部機関での研修に相談員を派遣したりする中で、新しい情報収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

- 第1回 平成26年7月15日(火)「外国人が安心して安全な生活を送るために」
- 第2回 平成26年7月22日(火)「相談員の心構え」
- 第3回 平成26年10月28日(火)「外国籍住民の教育について」
- 第4回 平成27年1月27日(火)「医療制度とMIGかながわの医療通訳について」

③外部研修会等への派遣

- 災害時における外国人への支援セミナー
- 川崎市居住支援制度連絡調整会議
- 外国籍県民相談員研修会
 - 第1回 平成26年5月23日(金)「法律相談の事例から考える外国人が抱える問題」
 - 第2回 平成26年7月24日(木)「法律相談の事例から考える外国人が抱える問題Ⅱ」
 - 第5回 平成27年1月16日(金)「生活困窮者自立支援制度とは何か」
 - 第6回 平成27年1月30日(金)「外国籍住民の生活困窮と自立支援する私たち」
- 全国市町村国際文化研修所研修 平成26年5月8日(木)・9日(金)
「基礎から学ぶ多文化共生と自治体、協会、住民の役割」
- 川崎市「やさしい日本語」に関する研修 平成27年2月10日
- 神奈川県外国人居住支援NW運営協議会

■※施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営 (JV)

①統括業務

施設の運営及び維持管理業務を円滑に行うため、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

②施設利用受付及び案内業務

ア 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

イ 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

③施設利用促進業務

ア ホームページならびに地域住民への回覧、チラシ等による情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。

イ 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。

ウ 随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

エ 川崎市国際交流センター活用推進委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るために予定していた「川崎市国際交流センター活用推進委員会」の開催準備中の弔事により今年度の開催は見送ったが、昨年度からの懸案事項の稼働率の向上策として、稼働率の低い施設（特別会議室、料理室、お茶室）の紹介をしたポスターの掲出とチラシの配架をした。

○報告事項

- ・意見箱の増設
- ・駐車場看板の修繕
- ・駐車場の修復
- ・タウン情報誌への掲載（施設PR）
- ・情報ロビーの備品の貸し出し

○今後の取組計画

- ・関係機関へのチラシ配架依頼
- ・情報ロビーの活用方法の見直し
- ・談話ロビーの大型テレビジョン活用による国際交流・国際理解の情報発信
- ・防災関係の見直し

オ 外国人市民、来館者を交えた防災訓練の実施

（期 日）平成 27 年 2 月 24 日（火）10:14～11:50

（内 容）防災訓練

中原区消防署による火災訓練

防災用品の展示

災害用アルファ米の試食

災害用伝言ダイヤル171の体験、web117災害用伝言板

119通報訓練、AED体験、水消火器体験、煙体験、起震車での大地震体験

多言語資料の配布、災害用品の展示

④図書・資料室管理業務

ア 一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類や、本の装備と配架などの作業を速やかに行い、利用者へ最新の情報提供を行った。

イ 小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

ウ 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を毎月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数200部で近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

エ 隔月毎にテーマを設けて図書の展示を行い、多くの入館者へ様々なジャンルの本の紹介を行った。

⑤施設・設備の維持管理及び補修業務

ア 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

イ 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。

ウ 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な

補修を実施した。

エ 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

⑥舞台及びAV機器等維持管理業務

市民文化の育成と国際文化交流の場とすべく、利用者に対し機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置ならびに機器類の維持管理を行った。

⑦施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

⑧駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

⑨設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

⑩施設環境衛生管理業務

ア 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

イ 空気環境測定業務 年6回（奇数月）

ウ 飲料水水質検査 年2回（2月・8月）

エ 給湯水水質検査 年2回（2月・8月）

オ 害虫防除 年12回

カ レジオネラ症対策（空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施）
（冷却水水質検査 年2回 6月・8月）

⑪施設清掃業務

ア 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

イ 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

ウ フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

⑫植栽維持管理業務

ア 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

イ イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。

ウ 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

①施設の改修

・別棟2階ベランダの防水工事

- ・ 会議室のスライディングウォール修理工事
- ・ 空調制御機器交換工事
- ・ 駐車場のアスファルト補修工事
- ・ レセプション横出入り口通路のインターロッキング補修工事
- ・ ホテル系統の水道メーター交換工事

②施設の環境整備等

- ・ 談話ロビーのパブリックビューイング環境整備
- ・ ホール無料備品に「ダンス舞台用シート」を新規導入
- ・ 情報ロビー等の活動展示スペースの整備
- ・ A E D 設置
- ・ 談話ロビー等に無料W i - F i 提供
- ・ 茶室外構竹垣の更新
- ・ 駐車場利用案内板（英文表記）の整備
- ・ トイレ整備（洗浄暖房便座設置）の完了
- ・ 料理室の利用者アンケートによる整備

(3) 市民共同おひさま発電所の見学会

①経過等

平成20年8月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

これは、地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となって立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及び a p b a n k からの融資によって、市民自らの手により設置し、川崎市に寄付したものである。

今後は川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、また、センターを訪れる外国人をはじめ多くの皆さまに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続して発信していく。

②設備の概要

太陽光発電（合計出力）	6.25kW
内訳 国際交流センター陸屋根設置分	4.32kW
プロムナード上部設置部分	1.93kW
事業費 約850万円	
内訳 寄付金	150万円
グリーン電力基金	700万円

(4) 利用実績

①平成26年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	15,537人
5月	16,820人
6月	16,689人
7月	31,178人

8月	14,939人
9月	15,879人
10月	17,951人
11月	19,075人
12月	22,464人
1月	20,889人
2月	17,713人
3月	16,829人
合計	225,963人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

②川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：344日）

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール(264)	737	71.4	特別会議室(28)	56	5.4
レセプションルーム	628	60.9	特別応接室(8)	136	13.2
会議室(第1)(36)	540	52.3	料理室(24)	227	22.0
会議室(第2)(24)	757	73.4	交流サロン(30)	830	80.4
会議室(第3)(24)	633	61.3	茶室	292	28.3
会議室(第4)(30)	579	56.1	レクリエーションルーム	985	95.4
会議室(第5)(30)	587	56.9			
会議室(第6)(18)	787	76.3			
会議室(第7和室)(10)	765	74.1			

(注) 1. ()は定員

2. 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3. 利用率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。

但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。